



①食事中のヒロヘリアオイラガ 2018.9.7、②ヒロヘリアオイラガの終齢幼虫 2018.9.7、③葉脈だけになったハスの葉 2018.9.12
④【成虫♀】 http://www.jpmoth.org/Limacodidae/Limacodinae/Parasa_consocia.html より引用

ふじのくに地球環境史ミュージアム（以下：ふじミュージー）中庭の池に、ハスが麻機沼から移植してある。盛夏に美しいハスの花をご覧になった方もいることでしょう。私もその一人で、ふじミュージー2階の窓から池を見ていた。丸いはずのハスの葉がまるで傘の骨のようにになっている。『何かに食われている！』そう思い、急いで池に降りてみた。

棘の特徴から、通称デンキムシつまりイラガの幼虫のようだが、ハスの葉を食べるイラガは知らない。

家に帰りインターネットで調べてみた。背面中央に青色の縦帯があり、体の一部にだけ朱色の棘があるので、ヒロヘリアオイラガ（*Parasa lepida*）の終齢幼虫と思われる。

神奈川県衛生研究所のホームページには、「従来、鹿児島市内でのみ採集されていましたが、1970年代後半以降西日本各地に見られるようになり、近年関東地方でも見られるようになりました」とあり、「幼虫は7～10月頃にサクラ、クスノキ、エノキなど多種類の樹木に見られます」という記載から、中庭に植えてあるクスノキから落下した幼虫がハスを食べたのかもしれない。

しかし、どう調べてみても、ヒロヘリアオイラガの幼虫はハスを食べるという記載は見当たらなかった。